

【施用実績】タマネギ

◇推奨品種と施用量、期待出来る効果

推奨品種: **メインマグC** **メインマグN** **メインマグCb**

施用量: 基肥時: 60~90kg/10a

ケイ酸・苦土の働きにより、葉を丈夫にし、**玉の肥大期が長くなります。**

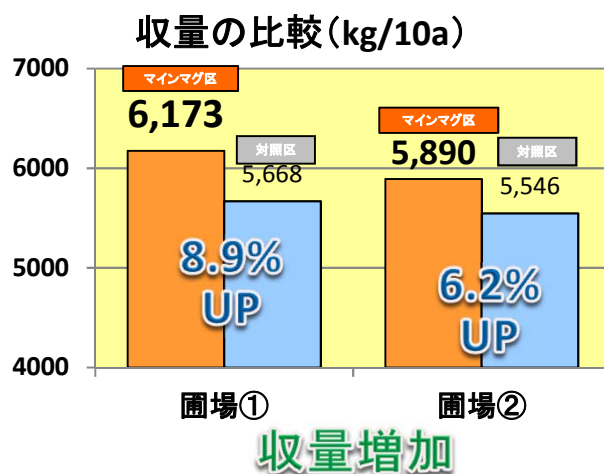
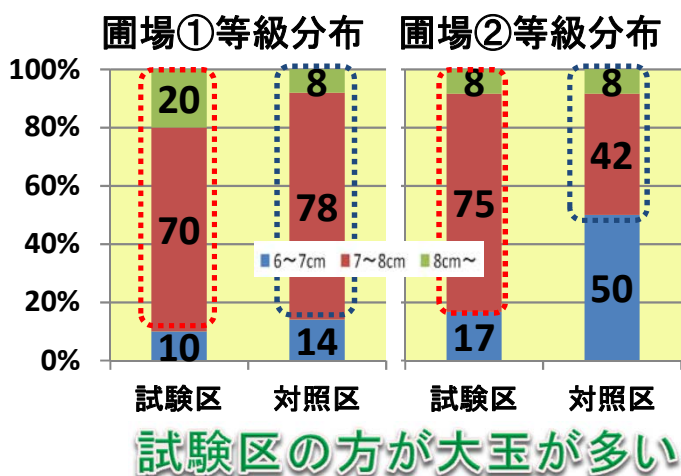
初期生育の向上効果により、**収量増加**につながります。



■圃場: 北海道



【品種】北もみじ
 【対照区】慣行
 【メインマグ区】慣行 + メインマグC 60kg/10a



【評価】

・対照区は試験区に比べ葉鞘が柔らかく、早い段階で倒伏が起こった。

メインマグ施肥区はケイ酸の働きにより**倒伏を軽減**し、**玉の肥大と収量増加**につながった。

■圃場: 兵庫県淡路島



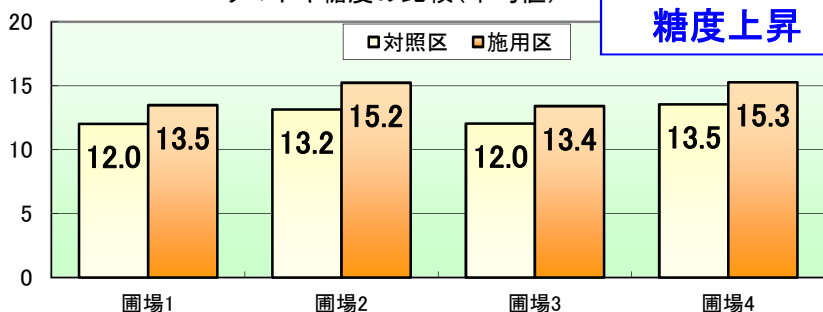
対照区	慣行
施用区	(圃場1-3) 慣行 + (基肥) メインマグ C45kg/10a (圃場4) 慣行 + (基肥) メインマグ N45kg/10a



糖度計: PEN-1st(アタゴ社製)、タマネギ切断面5箇所、タマネギ3個、合計15箇所から測定

【糖度試験】

タマネギ糖度の比較(平均値)



■圃場: 北海道

